

FUJITSU Workstation CELSIUS

CELSIUS W5010

BIOS セットアップメニュー 一覧

Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Core、Intel vPro、Xeonは、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。
その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

BIOSセットアップメニュー詳細

BIOSセットアップのメニューについて説明しています。
BIOSセットアップのメニューは次のとおりです。

メニュー	説明
メイン (→P.2)	BIOSやワークステーション本体についての情報が表示されます。 また、日時や言語を設定します。
詳細 (→P.3)	CPUや内蔵デバイス、周辺機器などを設定します。
セキュリティ (→P.7)	パスワードなどのセキュリティ機能を設定します。
電源管理 (→P.9)	停電復旧時の動作や、Wake up on LAN機能などを設定します。
イベントログ (→P.11)	イベントログに関する設定を行います。
起動 (→P.11)	起動時の動作について設定します。
終了 (→P.12)	設定値の保存や読み込み、BIOSセットアップの終了などを行います。

重要

- BIOSセットアップの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。
あらかじめご了承ください。

POINT

- ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動すると、設定変更のできる項目が制限されます。制限された項目はグレーに表示されます。
ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動した場合に変更できる項目は次のとおりです。

メニュー	設定項目
メイン	言語 (Language) システム日付 システム時刻
詳細	「シリアルポートコンソールリダイレクション設定」配下の全項目
セキュリティ	ユーザー用パスワード設定
起動	起動時のNumLock設定 起動時のロゴ表示
終了	変更を保存して終了する (再起動) 変更を保存せずに終了する (再起動) 変更を保存して終了する (電源OFF)

メインメニュー

☐選択肢 ☒初期値

設定項目	備考
BIOS情報	
BIOSベンダー	
カスタマイズ	
コア版数	
コンプライアンス	
システム情報	
システムボードおよびファームウェア	
BIOS版数	
BIOS日付	
Board	
型名	
製造番号	
カスタムメイド番号	
UUID	
LANデバイス	
LAN1 MAC Address	
CPU詳細	
CPU名	
メモリ詳細	
メモリ容量/周波数	
DIMM CHB3	
DIMM CHB1	
DIMM CHA4	
DIMM CHA2	
Open Source Software License Information	
システム日付 01/01/2000～12/31/2099	・【Tab】キー／【Enter】キー … 右の項目に移動 ・数字キーで入力 ・OSが自動的に変更する場合あり

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
システム時刻 00 : 00 : 00 ~ 23 : 59 : 59	・【Tab】キー／【Enter】キー … 右の項目に移動 ・数字キーで入力
言語 (Language) □English ■日本語	
アクセスレベル	BIOS セットアップを管理者用パスワードで起動した場合は「管理者」、ユーザー用パスワードで起動した場合は「ユーザー」と表示される
キーボードレイアウト □English(US) □Spanish □French □Brazilian □Dutch □German □Italian □Swedish □Danish □Finnish □Norwegian □Russian ■日本語 □Korean □Chinese	BIOS パスワードを設定している場合は設定不可
ポインティングデバイスサポート □使用しない ■使用する	

詳細メニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
オンボードデバイス設定	
内蔵 LAN デバイス ■使用する □使用しない	
オーディオコントローラー ■使用する □使用しない	
PCI Subsystem 設定	
4GB 以上のアドレス空間へのデコード ■使用する □使用しない	
CPU 設定	
HT テクノロジー □使用しない ■使用する	対応 CPU 搭載時に設定可能
アクティブコア Xeon-W1270 / Core i7 の場合 ■全て □1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 Xeon-W1250 / Core i5 の場合 ■全て □1 □2 □3 □4 □5 Core i3 の場合 ■全て □1 □2 □3	
Intel Virtualization Technology □使用しない ■使用する	
VT-d □使用しない ■使用する	
TXT 設定 □使用しない □使用する	<ul style="list-style-type: none"> ・ご購入時は、Secured-core PC 対応モデルは「使用する」、Secured-core PC 非対応モデルは「使用しない」に設定 ・対応 CPU 搭載時に設定可能 ・下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> ♦「Intel Virtualization Technology」が「使用する」 ♦「VT-d」が「使用する」 ♦「セキュリティチップ」が「使用する」

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
SW Guard Extensions (SGX) □使用しない □使用する ■ソフトウェア制御	
Enhanced SpeedStep □使用しない ■使用する	※注1
Turbo Mode □使用しない ■使用する	・対応CPU搭載時に設定可能 ・下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「Enhanced SpeedStep」が「使用する」 ※注1
C States □使用しない ■使用する	※注1
Package C State limit □C0 □C2 □C3 □C6 □C7 □C7S □C8 □C9 □C10 □CPU Default ■自動	※注1
ランタイムエラー記録設定	
ECCメモリエラー記録 □使用する ■訂正不可能なエラーのみ □使用しない	※注1
ドライブ設定	
NVMe デバイス設定	搭載されている NVMe デバイスを表示
オンボードSATA設定	
SATAモード ■AHCI Mode □Intel RST	※注1
SATA Port 1	
Port 1 □使用しない ■使用する	
SATA Port 2	
Port 2 □使用しない ■使用する	

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
SATA Port 3	
Port 3 □使用しない ■使用する	
SATA Port 4	
Port 4 □使用しない ■使用する	
SATA Port 5	
Port 5 □使用しない ■使用する	
SATA Port 6	
Port 6 □使用しない ■使用する	
SMART設定	
SMART診断 ■使用しない □使用する	
TPM (セキュリティチップ) 設定	
セキュリティチップ □使用しない ■使用する	
TPM状態の変更内容 ■変更しない □クリアする	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「セキュリティチップ」が「使用する」 ⇒『製品ガイド (共通編)』の「2章 BIOS」―「セキュリ ティチップの設定を変更する」を参照
現在のTPMの状態	
USB設定	
USB設定	接続されているUSBデバイスを表示
マストレージデバイス	
USBストレージドライブのタイプ ■自動 □Floppy □Forced FDD □Hard Disk □CD-ROM	

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
USBポートセキュリティ	
USBポート設定 ■全て有効 <input type="checkbox"/> 前面と内部のみ有効 <input type="checkbox"/> 背面と内部のみ有効 <input type="checkbox"/> 内部のみ有効	
System Management	
FAN制御 <input type="checkbox"/> Enhanced ■自動 <input type="checkbox"/> Full	※注1
温度	
CPU	温度センサー（CPU）の現在の状態
Ambient	温度センサー（Ambient）の現在の状態
Core	温度センサー（Core）の現在の状態
Graphics	温度センサー（Graphics）の現在の状態
SSD2	温度センサー（SSD2）の現在の状態
PCH	温度センサー（PCH）の現在の状態
CPU2	
FAN	
CPU	CPUファンの現在の状態
SYS2	SYS2ファンの現在の状態
SYS1	SYS1ファンの現在の状態

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
シリアル/パラレルポート設定	
シリアルポート1設定	
シリアルポート <input type="checkbox"/> 使用しない ■使用する	
デバイス設定	下記の項目が次のように設定されているときに表示 ♦「シリアルポート」が「使用する」
I/Oアドレスと割り込み ■自動 <input type="checkbox"/> IO=3F8h; IRQ4; <input type="checkbox"/> IO=3F8h; IRQ3,4,5,6,7,9,10,11,12; <input type="checkbox"/> IO=2F8h; IRQ3,4,5,6,7,9,10,11,12; <input type="checkbox"/> IO=3E8h; IRQ3,4,5,6,7,9,10,11,12; <input type="checkbox"/> IO=2E8h; IRQ3,4,5,6,7,9,10,11,12;	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「シリアルポート」が「使用する」
パラレルポート設定	
パラレルポート <input type="checkbox"/> 使用しない ■使用する	
デバイス設定	下記の項目が次のように設定されているときに表示 ♦「パラレルポート」が「使用する」
モード ■STD Printer Mode <input type="checkbox"/> SPP Mode <input type="checkbox"/> EPP-1.9 and SPP Mode <input type="checkbox"/> EPP-1.7 and SPP Mode	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「パラレルポート」が「使用する」

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
シリアルポートコンソール リダイレクション設定	
COM0 コンソールリダイレクション ■使用しない □使用する	COM0に対するコンソールリダイレクションに関する設定
コンソールリダイレクション設定	
COM0コンソールリダイレクション設定	
Terminal Type □VT100 □VT100+ □VT-UTF8 ■ANSI	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「コンソールリダイレクション」が「使用する」
Bits per second □9600 □19200 □38400 □57600 ■115200	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「コンソールリダイレクション」が「使用する」
Data Bits □7 ■8	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「コンソールリダイレクション」が「使用する」
Parity ■None □Even □Odd □Mark □Space	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「コンソールリダイレクション」が「使用する」
Stop Bits ■1 □2	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「コンソールリダイレクション」が「使用する」
Flow Control ■None □Hardware RTS/CTS	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「コンソールリダイレクション」が「使用する」
VT-UTF8 Combo Key Support □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「コンソールリダイレクション」が「使用する」
Recorder Mode ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「コンソールリダイレクション」が「使用する」
Resolution 100x31 ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「コンソールリダイレクション」が「使用する」
Putty KeyPad ■VT100 □LINUX □XTERM6 □SCO □ESCN □VT400	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「コンソールリダイレクション」が「使用する」
COM1 (Pci Bus0,Dev0,Func0) Console Redirection □使用しない ■使用する	・インテルvPro/AMTに対するコンソールリダイレクションに関する設定 ・SOL (Serial Over LAN) セッションの有効時に設定可能

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
AMT設定	
ME版数	
Intel(R) AMT BIOS Extension ■使用しない □使用する	
AMT USB プロビジョニング ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「Intel(R) AMT BIOS Extension」が「使用する」
AMT/ME設定のクリア ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「Intel(R) AMT BIOS Extension」が「使用する」
Intel(R) MEセットアップ ■Normal □Enter MEBx Setup	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「Intel(R) AMT BIOS Extension」が「使用する」
ネットワークスタック	
ネットワークスタック □使用しない ■使用する	
IPv4環境での起動 □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「ネットワークスタック」が「使用する」
IPv6環境での起動 □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「ネットワークスタック」が「使用する」
内蔵ビデオ設定	
プライマリディスプレイ ■自動 □内蔵ビデオ □PCI Express for Graphics (PEG) □PCI Express	グラフィックスカード搭載時に設定可能
内蔵ビデオ ■自動 □使用しない □使用する	グラフィックスカード搭載時に設定可能
内蔵ビデオメモリサイズ □32MB ■64MB	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「内蔵ビデオ」が「自動」または「使用する」 ※注1
DVMTメモリサイズ □128MB ■256MB □MAX	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「内蔵ビデオ」が「自動」または「使用する」 ※注1
Intel(R) Ethernet Connection (11) I219-LM	オンボードLANデバイスのオプションROMに関するサブメニュー ※注1

注1：本設定は初期値のまま変更せずにお使いください。

セキュリティメニュー

☐選択肢 ☒初期値

設定項目	備考
ユーザー用パスワード文字数 4	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーザー用パスワードの設定可能文字数（3～32）を設定 ・管理者用パスワード設定時に設定可能
管理者用パスワード設定	⇨『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」―「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ユーザー用パスワード設定	⇨『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」―「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
起動時のパスワード入力 <input type="checkbox"/> 毎回 <input type="checkbox"/> 最初のみ <input checked="" type="checkbox"/> 使用しない	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者用パスワード設定時に設定可能 ・毎回…本ワークステーションの起動時ごとに、パスワード入力进行要求 ・最初のみ…本ワークステーションの電源を入れたときのみ、パスワード入力进行要求 ・使用しない…本ワークステーションの起動時に、パスワード入力进行要求なし ⇨『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」―「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
自動ウェイクアップ時のパスワードスキップ <input checked="" type="checkbox"/> 使用しない <input type="checkbox"/> 使用する	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者用パスワード設定時に設定可能 ・使用しない…自動ウェイクアップ時での起動時に、パスワード入力进行要求 ・使用する…自動ウェイクアップ時での起動時に、パスワード入力进行要求なし ・ハードディスクパスワードの入力スキップは不可
取外し可能なディスクからの起動制限 <input type="checkbox"/> 使用する <input checked="" type="checkbox"/> 使用しない	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者用パスワード設定時に設定可能 ・使用しない…すべてのユーザーが取外し可能なディスクから起動可能 ・使用する…管理者だけが取外し可能なディスクから起動可能
システムファームウェア更新機能 <input type="checkbox"/> 使用しない <input type="checkbox"/> 使用する（制限付き） <input checked="" type="checkbox"/> 使用する	
デバイスファームウェア更新機能 <input type="checkbox"/> 使用する（制限付き） <input checked="" type="checkbox"/> 使用する	
システムファームウェアロールバック <input checked="" type="checkbox"/> 使用しない <input type="checkbox"/> 使用する	

☐選択肢 ☒初期値

設定項目	備考
所有者情報	
所有者情報	設定状況を表示
所有者情報設定	
起動時のHDDパスワード入力 <input checked="" type="checkbox"/> 使用する <input type="checkbox"/> 使用しない	<ul style="list-style-type: none"> ・ハードディスクパスワード設定時に設定可能 ・使用する…本ワークステーション起動時に、ハードディスクパスワード入力进行要求 ・使用しない…本ワークステーション起動時に、ハードディスクパスワード入力进行要求なし ・再起動時は、本設定に関係なくパスワード入力进行要求なし（M.2フラッシュメモリディスク（NVMe）を除く） ⇨『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」―「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
〔ハードディスクドライブ名〕	ハードディスクセキュリティに対応したハードディスク搭載時に表示 ⇨『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」―「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ハードディスクセキュリティ設定	
Security Supported	設定状況を表示
Security Enabled	設定状況を表示
Security Locked	設定状況を表示
Security Frozen	設定状況を表示
ユーザーパスワードの状態	設定状況を表示
マスターパスワードの状態	設定状況を表示
ユーザーパスワード設定	電源投入直後にBIOSセットアップを起動した場合に設定可能。再起動後は表示されない。

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
セキュアブート設定	
署名情報の保護	・ 設定状態を表示 ・ 「無効（セットアップモード）」または「有効（ユーザーモード）」と表示される
セキュアブート	・ 設定状態を表示 ・ 「セキュアブート機能」が「使用する」時は「使用する」、「使用しない」時は「使用しない」と表示される
Vendor Keys	セキュアブート機能が「使用する」時の設定状態を表示
セキュアブート機能 □使用しない ■使用する	本設定を変更して再起動すると、「起動デバイスの優先順位」が変更される（必要に応じて起動順位を設定し直し）※注1
署名情報設定 ■標準 □カスタム	
署名情報の管理	
署名情報の初期化 □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・ 「署名情報設定」が「カスタム」
署名情報の初期化	下記の項目が次のように設定されているときに表示／設定可能 ・ 「署名情報設定」が「カスタム」 ・ 「署名情報の初期化」が「使用する」
キーの保存	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・ 「署名情報設定」が「カスタム」
Device Guard Ready	
Remove 'UEFI CA' from DB	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・ 「署名情報設定」が「カスタム」
Restore DB defaults	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・ 「署名情報設定」が「カスタム」

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
Secure Boot variable	
Platform Key(PK)	
Details	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・ 「署名情報設定」が「カスタム」
Save To File	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・ 「署名情報設定」が「カスタム」
Set New Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・ 「署名情報設定」が「カスタム」
Delete key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・ 「署名情報設定」が「カスタム」
Key Exchange Key	
Details	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・ 「署名情報設定」が「カスタム」
Save To File	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・ 「署名情報設定」が「カスタム」
Set New Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・ 「署名情報設定」が「カスタム」
Append Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・ 「署名情報設定」が「カスタム」
Delete Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・ 「署名情報設定」が「カスタム」
Authorized Signatures	
Details	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・ 「署名情報設定」が「カスタム」
Save To File	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・ 「署名情報設定」が「カスタム」
Set New Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・ 「署名情報設定」が「カスタム」
Append Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・ 「署名情報設定」が「カスタム」
Delete Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・ 「署名情報設定」が「カスタム」

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
Forbidden Signatures	
Details	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Save To File	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Set New Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Append Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Delete Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Authorized TimeStamps	
Details	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Save To File	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Set New Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Append Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Delete Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
OSRecovery Signatures	
Set New Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Append Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」

注1：Windows 10のモード（UEFI／レガシー）は、次の手順で確認できます。

- 1 Windowsを起動します。
- 2 タスクバーの「検索」ボックスに、「msinfo32」と入力して【Enter】キーを押します。「システム情報」が表示され、「BIOSモード」の項目に「UEFI」または「レガシー」が表示されています。

電源管理メニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
電源管理設定	
AC通電再開時の動作 ■使用しない □電源OFF □電源ON □自動	・設定変更は再起動後に有効 ・電源OFF…通電再開時に一瞬電源が入り、WoLなどを初期化。その後電源OFF。 ・自動…電源断発生時の状態による。 起動中、スリープは「電源ON」 シャットダウン、休止状態は「電源OFF」 ※注1
電源オフ時の電源供給 ■電源OFF □電源ON	設定変更は再起動後に有効
USB Type-Cポートへの給電 ■最大3A/15W □最大1.5A/7.5W □最大900mA/4.5W □給電しない	設定変更は再起動後に有効
ウェイクアップ設定	
PC-ディスプレイ電源連動機能 □使用しない □電源ONのみ ■使用する	設定変更は再起動後に有効
LAN ■使用しない □使用する	設定変更は再起動後に有効 ※注2 ※注3 ※注4 ⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「Wakeup on LANを有効にする」を参照
LANによるウェイクアップ後の起動 ■起動順位に従う □ネットワークから起動する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「LAN」が「使用する」
キーボード ■使用しない □使用する □専用キーのみ	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「電源オフ時の電源供給」が「電源ON」

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
時刻 ■使用しない □使用する	設定変更は再起動後に有効 ※注2 ※注3 ※注5
時 0～23	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」
分 0～59	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」
秒 0～59	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」
モード □毎週 ■毎日 □毎月	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」
日曜日 □使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎週」
月曜日 □使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎週」
火曜日 □使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎週」
水曜日 □使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎週」
木曜日 □使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎週」
金曜日 □使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎週」
土曜日 □使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎週」
日 1～31	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎月」

注1：UPSなどを使って通電再開時に電源を投入させたい場合は、「電源ON」に設定してください。
ただし、「電源ON」設定時に、本ワークステーションの電源切断状態からAC入力に瞬断が発生すると、本ワークステーションの電源が投入されることがあります。

注2：Windowsの高速スタートアップを無効にしてください。

注3：「AC通電再開時の動作」を「使用しない」に設定した場合、停電などのAC電源切断が発生すると、次に本ワークステーションの電源を入れるまで本機能は使用できなくなります。

注4：省電力状態（スリープ状態）からレジューム（復帰）させることはできません。デバイスマネージャーでの設定が必要です。

注5：省電力状態（スリープ状態）からレジューム（復帰）させることはできません。タスクスケジューラまたはタスクでの設定が必要です。

イベントログメニュー

☐選択肢 ☒初期値

設定項目	備考
イベントログ設定	
イベントログ設定	
イベントログ <input type="checkbox"/> 使用しない <input checked="" type="checkbox"/> 使用する	
イベントログ消去設定	
イベントログの消去 <input checked="" type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> 次回起動時に消去します <input type="checkbox"/> 毎回起動時に消去します	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「イベントログ」が「使用する」 ⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」－「イベントログを消去する」を参照
イベントログフル <input checked="" type="checkbox"/> 何もしない <input type="checkbox"/> すぐに消去する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「イベントログ」が「使用する」
イベントログの表示	⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」－「イベントログを確認する」を参照

起動メニュー

☐選択肢 ☒初期値

設定項目	備考
起動設定	
起動時のNumLock設定 <input checked="" type="checkbox"/> On <input type="checkbox"/> Off	Windowsログオン後は前回終了時の状態になる
起動時のロゴ表示 <input type="checkbox"/> 使用しない <input checked="" type="checkbox"/> 使用する	
起動デバイス順位の初期化 <input checked="" type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> はい	
起動エラー時の動作 <input type="checkbox"/> 起動を続ける <input checked="" type="checkbox"/> キー押下まで待つ	※注1
キーボードエラー検出 <input type="checkbox"/> 使用しない <input checked="" type="checkbox"/> 使用する	
UEFI起動デバイス追加時の優先順位 <input type="checkbox"/> 標準 <input type="checkbox"/> 最上位 <input checked="" type="checkbox"/> 最下位	
起動メニュー <input type="checkbox"/> 使用しない <input checked="" type="checkbox"/> 使用する	
起動デバイスの優先順位	OSを読み込むデバイスの優先順位を設定 ※注2 ⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」－「起動デバイスを変更する」を参照
Boot Option #n #1: Windows Boot Manager ([HDDデバイス名]) #2: UEFI: IPv4 [LANデバイス名] #3: UEFI: IPv6 [LANデバイス名]	nは起動の順位を示す ・カスタムメイドオプションおよびお使いの状況により、起動順位は異なる ・「UEFI: [CD/DVDドライブ名]」は、UEFI起動可能なディスクをセットしている場合に表示 ・UEFIアプリケーションが、優先順位を変更することがある

注1：本設定を「起動を続ける」に設定しても、エラーメッセージは表示され、イベントログにも記録されます。

注2：ネットワークサーバーから起動するためには、「Wired for Management Baseline Version 2.0」に準拠したインストレーションサーバーシステムが必要となります。

終了メニュー

項目を選んで【Enter】キーを押すと、確認画面が表示されます。

設定項目	備考
変更を保存して終了する（再起動）	
変更を保存せずに終了する（再起動）	
変更を保存して終了する（電源OFF）	
標準設定値を読み込む	次の項目は対象外 ・ 言語（Language） ・ システム日付 ・ システム時刻 ・ キーボードレイアウト ・ 管理者用パスワード ・ ユーザー用パスワード ・ ハードディスクパスワード ・ 起動時のパスワード入力 ・ セキュアブート機能 ・ 所有者情報 ・ 起動デバイスの優先順位 ⇨『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」―「ご購入時の設定に戻す」を参照
強制起動	
起動デバイス名	